

はなみずき

VOL
69

令和8年 夏号



「困りごと」を確実に受け止めるために

右田病院は、これまで地域の急性期医療を支える二次救急医療機関として、地域の皆さまの健康を見守ってきました。

2024年からは118床すべてを地域包括医療病棟として運用し、高齢化が進む南多摩地域で、医療と介護のあいだに生まれる“困りごと”を丁寧に受け止める体制づくりを進めています。

在宅で暮らす方や施設で療養される方が増える中、嚥下障害や誤嚥性肺炎で胃瘻造設が必要になった際に、手術枠が確保できず待機が長くなるという声を耳にします。

当院では、地域包括医療病棟の柔軟性を活かし、必要なときに必要な胃瘻造設を受けられる環境を整えてきました。

また、胃瘻交換については、今年度より外来での受け入れを順次広げ、訪問診療医や介護施設との連携を深めています。現時点では緊急の交換には対応しておりませんが、地域の安心につながるよう、将来的には緊急時にも対応できる体制整備を進めていく方針です。

さらに、直腸脱のように地域で対応できる医療機関が限られる疾患については、北里大学病院のご協力を得ながら腹腔鏡下手術にも取り組んでいます。遠方への移動負担を減らし、住み慣れた地域で治療を受けられる環境づくりを大切にしています。

加えて、鼠径ヘルニア、胆嚢結石症、大腸癌などの一般外科手術にも、高齢の患者さんを中心に幅広く対応しています。外科医療もまた、地域の暮らしを支える大切な一部だと考えています。

これからも、地域包括ケアシステムの中で“そばにいてくれる病院”として、皆さまの生活に寄り添い続けます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長
診療部 外科部長 北山卓

整形外科部長 就任のご挨拶

このたび、2026年4月より右田病院 整形外科の第18代部長を拝命いたしました岩城敬博と申します。

八王子市で長い歴史を有し、地域医療を担ってきた当院で診療に携わる機会をいただき、身の引き締まる思いであるとともに、大変光栄に感じております。

私はこれまで、東京医科大学八王子医療センターにて、開放骨折や骨盤骨折などの外傷治療に携わるとともに、大学病院の専門チームで股関節・膝関節の人工関節治療について研鑽を積んでまいりました。

近年の高齢社会の進展に伴い、当院でも高齢者救急として、転倒による四肢や脊椎の脆弱性骨折の患者様を多く受け入れています。骨折は治療だけでなく、その後の生活機能にも大きく影響します。そのため、早期に

治療方針を定め、手術・リハビリテーション・退院支援まで、多職種で連携しながら、患者様が可能な限り受傷前の生活に近づけるよう支援してまいります。

また、ご自宅への退院が難しい場合にも、患者様やご家族のご意向を確認しながら、地域の医療機関・介護施設・在宅サービス等と丁寧に調整し、切れ目のない支援につなげてまいります。

股関節や膝の痛み、転倒後の痛み、歩きにくさなどでお困りの際には、どうぞお気軽にご相談ください。地域の皆様の「動ける生活」を支えられるよう努めてまいります。



整形外科部長 岩城 敬博

医療法人財団興和会 右田病院

住所：〒192-0043 東京都八王子市暁町1-48-18
TEL：042-622-5155 (代表)

院長 右田 隆之

従業員数 210名 開設 昭和8年11月

標榜科目

- ・消化器外科・整形外科・呼吸器外科
- ・外科・消化器内科・循環器内科
- ・内科・泌尿器科・皮膚科
- ・リハビリテーション科・救急科

病床数

- 地域包括医療病棟 118床

東京都指定二次救急医療機関/在宅療養支援病院
日本外科学会認定専門医制度関連施設
日本整形外科学会専門医師研修施設

アクセス

- 京王八王子駅下車徒歩17分
- JR八王子駅下車徒歩22分
- JR八王子駅・京王八王子駅より
「宇津木台行」・「ひよどり山トンネル経由創価大学行」
「ひよどり山トンネル経由富士美術館行」・「ひよどり山トンネル経由戸吹行」
上記各バス「八王子郵便局」バス停下車徒歩4分



<https://www.migita Hosp.or.jp/>

医療法人財団興和会 みぎたクリニック

住所：〒192-0066 東京都八王子市本町13-8
TEL：042-621-5655 (代表)

院長 鴨 宣之

従業員数 40名 開設 平成20年5月

検診内容：人間ドック・各種健診 診療科：乳腺科・内科

日本人間ドック・予防医療学会健診施設機能評価認定施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診認定施設

アクセス

- JR八王子駅下車徒歩15分
- 路線バス 西東京・京王バス「八日町一丁目」バス停下車徒歩5分

MAP



医療法人財団興和会

みぎたクリニック

<https://www.migita Clin.com>

夏に多い

薬のおはなし

湿布薬による「光線過敏症」を知っていますか？



痛みや炎症を抑える目的で使用される湿布薬ですが、かぶれた経験はありませんか？
湿布の成分によるかぶれの他に、**紫外線の多い5～8月にアレルギーが原因で起きる強い皮膚炎があります**。その赤みや痒みを伴う発疹・炎症が起きてしまう日光アレルギーが**光線過敏症**です



● 症状 ●

- 湿布を貼った形に赤くなる
- 強いかゆみ
- 水ぶくれ・ヒリヒリ痛む
- 色素沈着が長く残る



● 夏に湿布を安全に使うためのポイント ●

- 直射日光を避けましょう
紫外線の多い5～8月の外出時は長袖、長ズボン、手袋等で覆い貼付部分に直接当たらないようにしましょう。白い生地や薄手の服よりは、濃い、暗い色の衣服の方が紫外線から皮膚を守る効果が高いです
- 湿布をはがした後も紫外線には注意しましょう
貼った場所は数週間～数か月後でも日光が当たると貼付部位に成分が残るため、**使用后4週間は紫外線に当てないように気を付けましょう**
- 湿布譲り渡しは禁止です。
もらった薬で副作用が起きた場合、副作用救済制度の対象外となります。



POINT!



紫外線に当てないことで予防できるので、**使用方法を守って効果的に湿布を使用しましょう**。全ての湿布で起こるわけではありません。個人差はありますが、**湿布を使用し症状が出てしまったら、使用を中止し皮膚科専門医に見せましょう**。

光線過敏を起こしやすい湿布：ケトプロフェンテープ・モーラステープ・ミルタックスパップなど

薬剤師 薬袋 麻美



新人看護師 オリエンテーション を実施しました



当院では今年度より、新人看護師が安心して現場に入れるよう、**1か月間のオリエンテーション**を実施しました。これまでのように早い段階で現場に入るのではなく、基礎的な知識や技術をしっかりと学び、自信をもって看護に向き合えることを大切にしています。研修では、**医療安全や感染対策、患者さんとの関わり方**に加え、看護技術トレーニングを通して、**日々のケアに必要な基本技術**を繰り返し練習しました。また、放射線科・検査科・薬剤科・栄養科など他部署での研修に加え、**医療機器メーカーへの訪問研修**も実施しました。実際に機器の仕組みや安全な取り扱いについて学ぶことで、より理解を深める機会となりました。これらの経験を通して、さまざまな専門職が連携しながら患者さんを支えていることを学び、チーム医療の中での看護師の役割を理解する機会となりました。

6名の新人看護師は、仲間とともに学びながら安心して質問し合える関係性を築き、5月から現場で働くことに向けた準備を整えました。**これからも、新人看護師が成長しながら、患者さん一人ひとりに寄り添った看護を提供できるよう、教育体制の充実に努めてまいります**。



看護部 教育委員会



皆さんは

骨密度検査していますか？



骨密度とは…骨の強さを判定するための主な指標です。

骨密度検査とは…骨の中にカルシウムなどのミネラルがどの程度あるかを測定します。骨密度は若い人の骨密度の平均値と比べて自分の骨密度が何%であるかで表されます。



骨粗鬆症の男女比は女性が男性の3倍と言われていますが、何故女性に多いのでしょうか？

骨粗鬆症が女性に多い理由は、もともとの骨量が男性より少ないうえに閉経により骨を守る女性ホルモン(エストロゲン)が急激に減少し、骨の新陳代謝のバランスが崩れて骨量が急激に減る為です。50代以降女性の有病率が急増し、80歳以上では2人に1人が骨粗鬆症と推計されています。

骨密度を低下させないために心掛けること、それは、**食事と運動と適度な日光浴**が推奨されます。食事では**カルシウム、ビタミンD、ビタミンK**など骨の形成に役立つ栄養素を積極的に摂りましょう。カルシウムとビタミンDを同時に摂ることで腸管でのカルシウム吸収率が高くなるそうです。



主なカルシウム食材

- 牛乳 ●乳製品 ●小松菜
- 青梗菜 ●大豆製品 等



主なビタミンD食材

- 鮭 ●サンマ
- シイタケ ●卵 等



主なビタミンK食材

- 納豆 ●ほうれん草
- にら ●キャベツ



これらの食材をうまく組み合わせておかずの1品にも加えてみてはいかがでしょうか？

運動は**散歩**を日課にしたり、**階段の上り下り**を取り入れるなど日常生活の中で**骨に負荷を掛ける**ことにより、骨を作る細胞が活発になり強くなる性質があります。ご自身の体調に合わせて無理せず少しずつ取り入れてみてはいかがでしょうか？



カルシウムの吸収を助ける**ビタミンD**は**紫外線を浴びる**ことで体内でも作られます。あまり浴びすぎると皮膚トラブルもありますので、冬であれば30分以上の散歩、**暑い夏等**であれば日陰などで30分いるだけでも十分のようです。



診療放射線技師 爲國 勇輔



夏の体調管理



栄養士のひとりごと

食を通して

暑くなると食欲が落ちたり冷たいものばかり食べてしまって体が冷えてしまうことはよくあります。**冷えた麺類や甘い飲み物、デザート類**は糖質が多い食品です。**糖質の代謝にはビタミンB1が必要**で豚肉、ウナギ、玄米、大豆などに豊富です。



また、食事で主菜となる肉、魚、卵などたんぱく質を多く含む食品、副菜として利用される緑黄色野菜などの**ビタミンA、ビタミンC**も不足しがちになるので、**主食、主菜、副菜揃えた食事**を意識してしっかりとるとよいです。熱中症予防対策としても朝食を食べることをおすすめします。お食事からも水分、塩分を補給できます。**睡眠不足やお酒の飲みすぎも脱水の要因**となります。**のどが渇く前にこまめに水分補給**しましょう。

主食

主菜

副菜



管理栄養士 藤江 美智子